

公益財団法人食生活研究会 2022年度事業報告

1. 公益目的事業

2022年度事業は、2022年3月9日第94回定時理事会で決議された研究助成、講演会および海外からの留学生支援を行った。

1) 研究助成

研究者に対する研究助成は

17件（1,550万円）の助成を行った。その詳細は以下のとおり。

No	氏名	機関名	研究テーマ
1	小栗 靖生	京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻栄養化学分野 助教	加齢に伴う熱産生脂肪の減少を防ぐ食品・栄養因子の探索と応用
2	黒飛 知香	広島修道大学健康科学部健康栄養学科 助教	異なる穀類を用いた粥の口腔内知覚・嚥下特性の数値化による嚥下困難者向け粥の最適化に関する研究
3	古賀 農人	防衛医科大学校 精神科学講座 助教	高脂肪食摂取による抑うつ症状や不安症状は肥満を介して発症するのか？
4	後藤 真生	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 食品健康機能研究領域健康・感覚機能グループ 上級研究員	小麦ふすまの摂食が生体防御機能に及ぼす影響の解析
5	高橋 将記	東京工業大学リベラルアーツ研究教育院 准教授	昼食欠食が糖代謝機能低下を引き起こすメカニズム解明
6	松村 成暢	大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科栄養療法学専攻 准教授	ストレスにより肥満する機構の解明とこれを防ぐ方法の探索
7	馬淵 良太	広島県公立大学法人 県立広島大学 生物資源科学部 准教授	健常被験者の血中代謝成分プロファイルと食事摂取履歴の相関性解析による新規栄養評価指標の構築
8	三田 雄一郎	同志社大学生命医科学部 医生命システム学科システム学科研究室 助教	セレン含有タンパク質 Selenoprotein P を減少させることによって2型糖尿病を改善する食品由来成分の探索
9	向井 理恵	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 准教授	食品成分のヒト血清アルブミン結合特性が生理活性評価に与える影響の解明

10	吉場 聡子	国立医薬品食品衛生研究所 生化学部 主任研究官	新たなゲノム解析技術を用いた未同定遺伝子組換え食品の特定
11	軽部 大	一橋大学大学院経営管理研究科イノベーション研究センター 教授	カテゴリ創造としてのイノベーション:糖質オフ・ゼロ市場形成メカニズムの理論的・実証的証明
12	富永 京子	立命館大学産業社会学部 准教授	グローバル化による異文化相互理解の契機としての「食」ー移動と越境を通じたイノベーション
13	佐々木 努	京都大学大学院農学研究科食品生物学専攻栄養化学分野 教授	生活習慣病の撲滅に向けた食行動と栄養研究
14	岸本 充生	大阪大学社会技術共創研究センター センター長	「リスクに基づくアプローチ (Risk based approach) 」の分野間比較
15	佐々木 敏	東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学分野 教授	栄養疫学研究ならびに食事指導・食育等への利用を目的とした汎用型食事調査ならびに食事指導システム (簡易型自記式食事歴法質問票 (BDHQ) システム) の開発・利用サービス・利用者教育等の推進に関する研究
16	堤 伸浩	東京大学大学院農学生命科学研究科 研究科長・教授	持続可能な社会の実現を目指す産学官民連携型農学研究・教育体制の再構築
17	三浦 浩喜	福島大学 学長	農学の特色ある教育研究による福島の復興と食農人材の養成

2) 講演会

第30回講演会は2022年9月6日（水）午後、クラブ関東大ホールにおいて「食と健康」を主テーマに開催した。

第一部で2021年度に研究助成を行った中から、田原 優 広島大学大学院医系科学研究科准教授、田中沙智 信州大学農学部准教授がそれぞれ研究報告の発表を行い、第二部で、上原万里子 東京農業大学副学長、教授が、「健康寿命の延伸を目指した骨の健康を守る食生活」について講演した。

なお、2021年度に引き続いて新型コロナ感染症の拡大に伴い、会場参加者数を絞り、代わりにオンラインにて同時配信を行った。その結果、会場46名、オンライン138名、合計184名の参加者となり、盛況の内に終了した。

3) 留学生支援事業

2022年度は以下の7名に各々奨学金100万円を支給した。

アイヌン ジャリヤさん（早稲田大学在籍、出身国：インドネシア）

ナー エアジェさん（立教大学在籍、出身国：マレーシア）

ロバート クラフトさん（筑波大学大学院在籍、出身国：ドイツ）

リン クララ イザベラ アンさん（東京大学大学院在籍、出身国：カナダ）

チョウラガイ スザンさん（東京農業大学在籍、出身国：ネパール）

ナータスビヤ ビンティ ユソフさん（明治大学大学院在籍、出身国：マレーシア）

タカワネ スミタ ニャンデオさん（千葉大学大学院在籍、出身国：インド）

奨学生は下記の行事に参加し、日本の食生活等に関して知見を深めた。

- ・当財団主催第30回講演会（参加留学生による挨拶実施）

（2022年9月6日）

- ・日清製粉グループ「製粉ミュージアム」見学会

（2022年11月18日、25日）

2. その他

1) フードコミュニケーション講演会開催

当財団の新しい講演会の試行として「フードコミュニケーション講演会」を2回開催した。講演会の内容は以下のとおり。

日時 : 2022年11月17日（水） 午前10:45～12:00

講師 : 関谷 直也 氏 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター准教授
東日本大震災・原子力災害伝承館 上級研究員

場所 : 会場（KKRホテルTOKYO）、オンライン配信実施

テーマ: 「風評被害とそのメカニズム-東京電力福島第一原子力発電所事故から考える食品に関する消費者不安の構造」

日時 : 2023年2月13日（月） 午前10:45～12:00

講師 : 村上 健太郎 氏 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻助教
場所 : 会場 (学会館)、オンライン配信実施
テーマ : 「人類的課題と情報の氾濫に立ち向かうツールとしての栄養学研究」

2) 人道支援・災害復興支援 他

不特定多数の利益に相当する以下の寄附を行った。財団では毎年その都度寄附の実施及び寄附先を検討して決定している。

(1) 寄附先 : 福島県

指定用途 : 東日本大震災ふくしまこども寄附金

寄附額 : 300,000円

実施日 : 2023年3月27日

(2) 寄附先 : 赤い羽根中央共同募金会

指定用途 : 災害ボランティア・NPO活動サポート募金

寄附額 : 300,000円

実施日 : 2023年3月27日

(3) 寄附先 : 特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

指定用途 : 「緊急チーム」募金

寄附額 : 300,000円

実施日 : 2023年3月27日

事業報告附属明細書

2022年度事業報告には「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。